

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.27

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その27[2012年8月26日]

出前寺子屋活動一年を経過して

出前寺子屋を始めたのは、昨年(2011年)の8月16日のことである。その一月以前の7月10日、谷村和枝は紹介者を得て単独石巻に入った。そして石巻専修大学元教授の木伏良明さんの導きにより、市立湊小学校避難所で手探りながらボランティア活動を開始した。おりから集団避難所から仮設住宅への移転の時期と重なり、市役所仮設住宅管理室の計らいで、仮設開成団地にボランティア活動の拠点を移すことになった。これをきっかけとして、谷村個人の支援活動から組織的な活動に発展させるため、谷村志厚が関わっている私塾ネット(全日本私塾教育ネットワーク)の主催事業とすることになったのである。

8月16日の第1回説明会の会場は、開成11団地北集会所であった。準備期間はわずか10日、急きょ木伏さんに仮設住宅に出前寺子屋開講の告知チラシをポスティングしていただいた。そして当日、チラシを手にお越しになったのが6名の皆さんで、ここに記念すべき第一期生が誕生したのである。そして1年を経て今も在籍され、次のステップへの学習を続けておられるのが、岡田ご夫妻と中学1年生の菊地君の3名である。

以降24年2月の平成23年度第3回漢検までを第I期、引き続き平成24年度第1回検定の6月までを第II期として、私塾ネット主催の出前寺子屋は運営されてきた。

その後は11月の第2回検定までを第III期として継続しているのだが、私塾ネットは主催から後援にまわり、日本キリスト教協議会・震災対策室の資金援助を受け、松戸市のAIM学習セミナーが運営している。

8月26日は、回を重ねること27回目のスクーリングであった。今回千葉から同行していただいたのが、古清水さんと大谷さん。ともに20代半ばの若者だが、お二人は現職の公立中学校教諭である。震災復興支援に関わりたいとの思いで、貴重な夏休みの一日を我々に同行されたのである。塾主催の事業に公立学校の先生が参加されるのは、一昔前なら考えられぬ事態である。永く学習塾団体の運営に関わった者としては、まことに感慨深いものである。



英検講座に参加された大谷さん。



漢検学習の指導に立つ古清水さん。

前述の通りこの日の活動が1年の区切りとあって、これまで撮りためた写真を100枚ほどDVDにまとめ、講習生の皆さんに披露させていただいた。名付けて「石巻出前寺子屋の一年」。NHKロンドンオリンピック応援歌「風が吹いている」(いきものがかり)をBGMに、キャプション付きの7分ほどのスライドショーにまとめたのだ。集会所の大型TVを使ってご覧いただいたのだが、皆さんから盛大な拍手と賛辞をいただき、製作者としては悦に入っている次第である。

さてこの日の受講生出席者は、漢検組14名、英検組12名(重複あり)であった。名簿上の在籍者は漢検26名、英検15名なので、漢検組の出席状況がおもわしくないのが現状である。 報告:谷村志厚

英検受験までのカウントダウンが始まる

猛暑の中、英検学習は5級講座が10分の遅れで、そして4級講座が定刻より30分早く始まった。5級の開始遅れは、門脇と女川の被災地に立ち寄ったスタッフの会場入りが少々遅くなり、会場での打ち合わせが開始時間に食い込んでしまったために発生した。開始遅れを吹き飛ばす程の確かな手ごたえを、4人の中学1年生は英検5級学習で示した。実践問題で仕上げの学習をするために、CD付きの過去問題集を宿題で配付した。すると、Cちゃんが「今は、CDのプレイヤーがないです」と言った。聞けば、パソコンも流され、宿題でCDは聴けない、リスニング問題はできない、との

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間: 第I期 2011年8月16日~2012年2月4日

第II期 2012年2月19日~6月17日

第III期 2012年6月16日~11月10日

①スクーリング(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日(以上会場確定分)

②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

③検定受験(第III期)

平成24年度第2回英語2012年10月13日

平成24年度第2回漢字2012年11月10日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

返答であった。彼女の家は、津波被害の大きかった石巻市湊地区にあった。全壊の家から転居はしたもの、揃える家具・備品等に優先順位があり、「今、CDプレイヤーは買えない」とCちゃんを迎えにきたお母さんも私(谷村和枝)に言った。量販店に行けば3千円程で買える、そう考えた。「CDプレイヤーを買って、ご自宅に送ります」と私は2人に約束をした。英検講座を開始して、参加者の辞書が流されていることにその都度対応してきたが、CDプレイヤーの流失は予想できない点であった。地震と津波による全壊、流失は何と重いことか、と改めて感じた。



英検4級組は「中1」から「還暦」まで。担当は東北大学の小野さんと永迫さん。

一方、4級講座は、学習内容に沢山の質問があり、それを聞くために、2人のおばさん生徒が30分も早く会場入りしたので、早まったのであった。この熱意があれば、英検4級は皆が合格できるのでは、と思えたのである。



英検の宿題のチェックをする永迫さん。

さて、中学3年生とそのお母さんが参加をしている3級講座は、合否の予測に明暗が分かれた。一人が合格ラインに届いていない。10月13日の受験日まであと一カ月半ある。あの手、この手を駆使してもう一押ししてみよう、と上りの新幹線で考えを巡らせながら、家路についた。英検受験までのカウント・ダウンが始まる次回は、9月9日に開催される。 報告・谷村和枝

過去3回の漢字検定実績・58名受験中合格者52名
2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-4名、5級-4名、
6級-3名、7級-2名 (小中学生16名、一般36名)

ご支援ありがとうございます

当活動は支援参加者個人の負担と、ご援助をいただいた皆さんの浄財で運営しております。2012年6月以降の第III期活動からは、日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)から活動資金支援をいただいています。

主管:AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
後援:全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
支援:日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)